



希望の未来へ 一直線！

とのべNEWS

Vol.

8

2018.summer

発行元

戸野部直乃

上尾市議会議員



6月議会報告

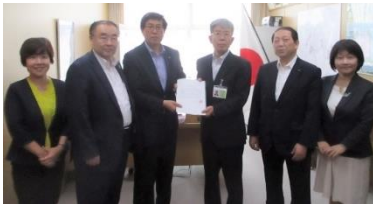
◎新図書館複合施設整備事業の今後の方針について◎

- ・工事再開でもなく、中止でもなく、現在の計画を見直し
- ・図書館本館は、当面現在の本館のまま
- ・上平の土地は今後しっかりと活用
(上尾市の公共施設マネジメントを踏まえ、図書館分館機能を含む、市民の方に利用していただける複合施設として整備する方向で、今後検討)

◎補正予算

障害者の短期入所(ショートステイ)を併設する共同生活住居(グループホーム)を整備する社会福祉法人を支援(5,700,000円)

通学路の安全点検を緊急要望！



大阪北部の地震において通学路のブロック塀が倒壊し、女兒が亡くなるという痛ましい事故がありました。
このことを受け公明党上尾市議団は 市内全小中学校の施設、および通学路に危険個所がないか緊急点検を行うよう、市と教育委員会に強く要請いたしました。

みなさんの声がかたちに！



上野のある通学路。
通勤通学の時間帯には抜け道となり交通量も多く危険との声。
交差点に注意喚起の赤いラインを引いていただきました。
←



上野本郷のカーブになっている道。
自転車の通行が多くカーブミラーの要請がありました。
(2つはあらかじめつけていました)
←



市民体育館のトイレに
荷物かけのフックが取り付けられました
←

6月
議会

とのべ直乃 議会質問より

(詳しくは上尾市議会HPをご覧ください)

授業におけるタブレットの活用

要望

文科省では、2020年度からデジタル教科書を全国の学校に導入する方針を示しています。これは、教育の情報化に対応したものです。デジタル教科書の位置付けに関する検討会議最終まとめによると、紙の教科書等による学習が困難な障害のある児童生徒のうち、デジタル教科書の使用による学習が効果的である児童生徒に対しては、より積極的な使用を可能にすることが望ましいとあります。

上尾市では平成31年4月までに全中学校へタブレットPC導入及び無線LAN整備が掲げられ、全国トップクラスのICT環境が整備されることが決まりました。今後、デジタル教科書も有効に使える環境が整っていく中で、あらゆる児童生徒の状況にしっかりと寄り添い、発達など個々の特性に合った最善の対応を検討していただくことを強く要望いたしました。



防災について



Q

災害対応における女性が果たす役割は大きいことを男女ともに認識し、女性も主体的な担い手として意思決定の場への参画やリーダーとしての活躍を推進することが重要です。そうすることで、災害から受ける影響の男女の違い等に配慮することができ、避難生活環境でも男女の人権を尊重して、安全安心を確保することができるからです。今後、避難所運営に関わる女性職員の比率を上げていく必要があると考えますがご見解は？

A

避難所運営における男女共同参画の視点が重要であることを説明し、各部局に女性職員の選出について協力依頼していきます。

要望

東日本大震災の津波によって、宮城県石巻市立大川小学校の多くの児童が亡くなりました。子どもたちの命をいかに守るか、日ごろからの学校の防災対策をいま一度見直していくことが求められます。災害避難所ではマンパワーが重要となります。昼間災害が起きたとき、力を発揮してくれる世代の多くは仕事に出ており、上尾市内にいないことが想像できます。そんなとき、地域の担い手となるのは中学生の存在です。避難訓練の段階から全中学校が地域と連携がとれる体制づくりをお願いいたします。

食品ロス削減の取り組み

Q

宴会時の食べ切りは食品ロス削減に対しとても有効です。市はどのような実践をされていますか。

A

市では、宴会時の食品ロス削減を目的においしく残さず食べきり運動を推進しており、啓発カードを作成し、配布いたしました。宴会の際には司会者に残さず食べ切ることを声がけいただくようお願いいたします



食品ロスを減らす5つのポイント

まだ食べられるのに捨てられている食べ物のことを「食品ロス」といいます。食品ロスを減らして、目指せ「エコマスター!!!」

